

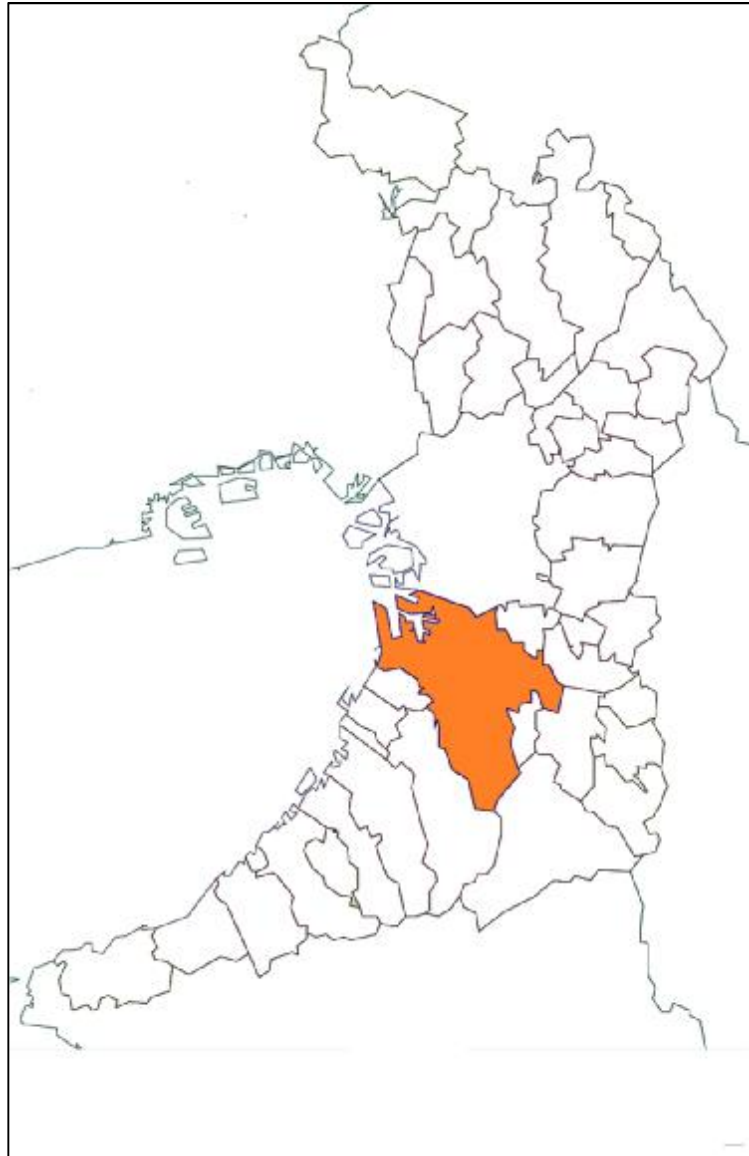
# 堺市の化学物質管理の取組について

～リスクコミュニケーションの取組を中心に～

平成29年2月14日

堺市 環境局 環境保全部  
環境対策課

# 堺市の概要



人口 : 839,463人 (H28.1.1時点)

## 観光

仁徳天皇陵古墳



## 伝統産業

刃物



自転車



線香など



# 堺市の概要



産業 (H26.7.1時点)

事業所数: 30,128事業所

従業者数: 337,160人

コンビナート

(夜景がきれい)



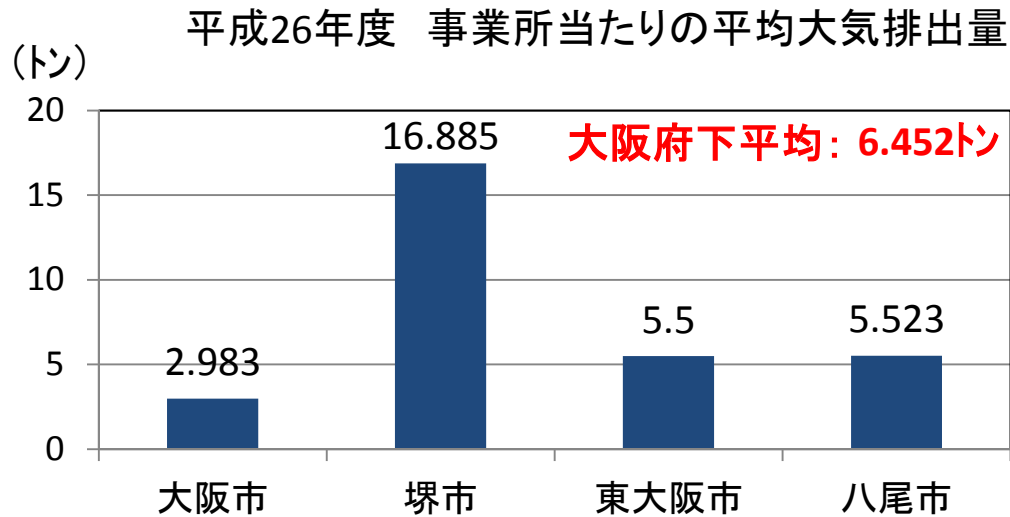
堺市～泉大津市にかけて日本でも有数の「堺泉北臨海工業地帯」がある。

事業所数: 約250事業所

業種: 石油精製、石油化学、鉄鋼業、造船等

大阪府下の製造製品出荷額の約20%を占める。

# 堺市の化学物質管理の取組



堺市の臨海部にはコンビナートを有しており、大規模な事業所が多数ある。また、内陸部にも事業所が数多く点在していることから、大気排出量が大阪府下で最も多い。

以上の  
**経緯**  
から

## 市民向け

- ・環境フェスタに参加



## 事業所向け

- ・セミナーの開催(法令・化学物質管理)



- ・研修会の開催(リスクコミュニケーション)

# 環境リスクコミュニケーションについて

開催日：平成28年12月5日 13:15～16:30

開催場所：三井化学(株) 大阪工場

参加事業所：堺・泉北臨海企業連絡会 環境安全分科会 9社

・宇部興産(株) ・大阪ガス(株) ・大阪国際石油精製(株) ・関西電力(株) ・コスモ石油(株)  
・DIC(株) ・東燃ゼネラル石油(株) ・日本酢ビ・ポバール(株) ・三井化学(株) (五十音順)

主催：堺市

講師：製品評価技術基盤機構(NITE) 竹田先生

化学物質アドバイザー 寺沢先生

## 【研修項目】

1. リスクコミュニケーションについて(講義)

2. グループワーク

3. ロールプレイング演習

# 講義風景



リスクコミュニケーションについての説明や、グループワーク、模擬リスクコミュニケーションの手順を説明。

# グループワーク



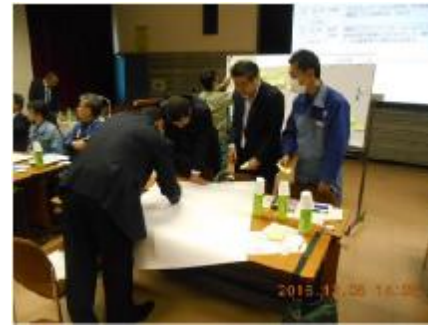
仮想の工場に対する質問を個人で考える



質問をグループで共有し、グループで10問の質問に絞る。



他のグループが考えた10個の質問を、グループで考え回答を作成。



# 模擬リスクコミュニケーション



グループ毎に会社側と市民側に分かれて  
討議を行う。

※討議の進行についてはグループワークの際  
に考えた質問と回答を用いて進行。





## 3.結果 & 課題

### 結果

研修の内容については講義だけでなく、グループワークを行うことで感覚が掴みやすい内容となっていました。また、アンケート結果からもよい経験となった等の声をいただき、実りの多い研修となったと思われれます。

### 課題

- ・リスクコミュニケーションに関する普及活動
- ・化学物質に対する市民の意識・理解向上

**ご清聴ありがとうございました**